

令和元年度一般会計補正予算などを可決

市議会12月定例会が11月28日に招集され、12月13日まで16日間の会期で開かれました。
上程された議案は、にかほ市工業振興条例の改正や令和元年度一般会計補正予算および各特別会計補正予算など27件と報告1件で、すべて原案のとおり可決・承認されました。

上程された主な議案

◆にかほ市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

秋田県人事委員会の勧告に準じて、一般職の職員の給料月額の設定や勤勉手当の支給率を0・1カ月引き上げるため、条例を改正しました。

◆にかほ市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◆にかほ市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

議員および特別職の勤勉手当の支給率を0・05カ月引き上げるため、条例を改正しました。
また、職員による度重なる事故や不適正な事務処理等により、市民の信頼を損ねた責任を重く受け止め、市長の給料を令和2年1月から3カ月間、10分の1相当分を減額するため、条例を

改正しました。

◆にかほ市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

地方公務員法および地方自治法の改正により、令和2年4月から市の新たな職員制度として会計年度任用職員制度を導入するため、本条例を制定しました。

◆にかほ市工業振興条例の一部改正

奨励措置対象業種に情報通信業、ガス業、コールセンター業を加え、多様な企業の立地促進を図るため、条例を改正しました。

◆令和元年度にかほ市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算とも2億4、595万8千円を追加し、予算総額は139億2、525万5千円となりました。

◆ふるさと納税について

本年度のふるさと納税の状況は10月末現在、5、670件、1億4、103万6千円で、昨年同期と比べ、寄付額は約15倍増となっています。

このように、寄付額が想定を大幅に上回ったことに伴い、連動して増加する返礼の品代や管理運営サイト委託料など、関連経費に関する補正予算を10月21日付けで専決処分しています。

寄付額が増加した理由は、ふるさと納税の掲載サイトを1つから10のサイトに拡大したこと、さまざまな層の方々に本市の魅力や返礼品をご覧いただく機会が増えたことや、返礼品としてお米を希望される方の割合が非常に高く、特に定期的にお送りする「米の定期便」が好調なことが大きな要因です。

今後も、ふるさと納税が集中する年末期に加え、年度末にかけて更なる寄付の獲得に向けた取り組みを推進します。

◆「にかほ市ネウボラあのね」について

10月1日から金浦保健センター内に、子育て世代包括支援センター「母子保健型として」「にかほ市ネウボラあのね」を開設しています。

主な市政報告

◆不適正な事務処理等について

職員による度重なる事故や不適正な事務処理等により、関係者に多大なご迷惑をお掛けし、市民の皆さまに大きな不安を与えましたことを心からお詫び申し上げます。

類似する業務等について、直ちに全庁の実態を調査し、再発防止に向けた体制の整備に取り組みでおり、引き続き職員の意識改革に努めます。

◆雇用状況について

ハローワーク本荘管内の有効求人倍率は9月末現在、常用・臨時を含む全数で1・38倍となり、前年同月比で0・17ポイント減少していますが、依然として高い水準を維持しています。県全体の有効求人倍率1・41倍と比較すると、0・03ポイント下回っています。

【主な歳出】

- ・ふるさと納税関連事業費 5、539万4千円
- ・環境プラザ機械器具修繕工事費 5、000万円
- ・工業振興条例補助金 1、098万3千円

直営作業班をはじめ、個人を含む14社体制で、降雪時の円滑な歩行と車輛通行の確保に努めます。

◆ガス事業の民営化

10月25日、東北経済産業局からガス事業譲渡譲受に関する認可を受けています。

また、10月1日からはにかほガス株式会社の社員がガス水道局に常駐し、本格的に事務引継を行っています。

今後はガス事業会計の清算や水道事業の事務所移転など、来年4月1日からの民営化に向けて引き続き準備を進めます。

主な教育行政報告

◆にかほ市グローバル教育講演会について

10月27日、武蔵野大学中学校・高等学校校長の日野田直彦先生を講師に迎え、講演会を開催しました。

講演では世界情勢の変化、学校改善、チャレンジの大切さなどが語られ、来場した約240人の市民が熱心に聞き入りました。予定時間をオーバーするほど活発な質問があり、有意義な講演会となりました。

有効求人倍率は、引き続き高水準を維持するものとみられ、慢性的な人手不足により、企業の事業活動への影響が深刻化しています。

◆ベトナム社会主義共和国フンイエン省フンイエン市訪問について

10月21日から24日までの日程で、にかほ市工業振興会の研修事業に同行しました。ベトナムの外国人技能実習生送出機関や在ベトナム日本国大使館およびフンイエン省フンイエン市を訪問し、ダイナミックに成長するベトナム経済や実習生たちの高い志を肌で感じてきました。

在ベトナム日本国大使館では、アジアやベトナム経済などについて意見交換を行ったほか、フンイエン市では今年5月に締結した覚書の実践に向けて、今後、スポーツや子どもたちの交流に取り組みことを相互に確認しており、両市の関係を更に発展させていきたいと考えています。

また、市内企業による外国人技能実習生の受け入れは、今後も増えていく傾向にあることから、実習生と市民が互いに理解を深めるための働きやすい環境づくりを進めます。

◆図書館機能付き文化交流施設の整備に向けた市民アンケート調査について

10月15日から11月4日までの期間、公共施設等にアンケート用紙と回収ボックスを設置するなどして調査を実施しました。回答数は1、643票で、市の人口に対しての回答率は6・7%となっています。今後、市民アンケートを分析し施設整備の参考とします。

◆市内小学校での伝承芸能の公開事業について

子どもたちが地元の番楽などの貴重な伝承芸能に触れ、継承意識を高めることを目的に学校での公開事業に取り組んでおり、10月26日に金浦小学校で金浦神楽を、11月2日には象潟小学校で鳥海山小滝番楽の鑑賞会を実施しました。

また、象潟小学校では今年5月から活動している郷土芸能クラブの発表も行われ、舞手3人、太鼓1人、笛9人が鳥海山日立舞の「三人立」を披露しました。今後も各校と連携しながら、伝承芸能の公開事業を進めます。